

9年間の学びを支える施設

失敗して学ぶ学校

生徒には失敗から学ぶ機会を作ってあげる。
そこからPDCAを回す。

先生と触れ合いやすい

教室のそばに教師の控室
子供たちと自然にふれあいができる。

先生も移動が楽。吉井中にあるようなもの。

特別支援への配慮 ある学校

特別支援学級の子供達への配慮

通級指導教室を中学校にもつくと
してほしい。

不登校児童・生徒を 大切にするスペース

不登校児童・生徒の通学や生活の
しやすさ

登校しやすい動線がある。
(学んだり、つながろうとしたりする
意欲を大切にすること。)

子どもの自由度を生かし、夢や体験を大切に するスペース

自然な明るさがあるといい。

開放感がある空間を作ってほ
しい。

視察に行った大階段のような
開かれた明るいスペース

浮羽のこれまでの資料展示ス
ペース

天井をプラネタリウム

壁全体をホワイトボードにして
生徒が自由にいろんなことを書
けるようにする。

図書スペースから専門教室へ行
けるのもいいなあ～

美術や家庭科の作品が展示で
きるスペース

地域とのつながり

PTAや地域とつながるスペース

交流スペースとして地域の方に使
用してもらえる場所

各小学校自治協議会が常駐し、子
ども達と触れ合う場所

地域の人やPTAが利用する専用
の部屋があって校内でふれあうこ
とができる。

PTAがいつでもきて新聞づくり
や話し合いができる部屋

子どもがくつろげるスペースがあ
るといい。室内にベンチなどを取
り入れてほしい。

農業等にも興味を持ってほしい。

総合学習などを利用して農業やモ
ノづくりの企業等やインターン
シップの機会をふやす。

異学年交流を大切にしたスペース

上級生が下級生を、下級生は
上級生を思い合える9年間に
してほしい。

異学年交流がしやすい場所が
あるとよい。(学年部の間に)

生徒たちが行き来しやすい教
室を作してほしい。

1～6年が遊びやすい天候に
左右されない遊具がある場所

うきは市の義務教育学校

どんな子どもを育てたい？
どんな学校にしたい？

R8.8.4 学校施設整備部会 (A班)

新しい学校にあると 学びが変わる空間

安心・安全な学校

安心して学べる学校施設

様々な、経験や体験ができる施
設整備

学童・保育園併設

義務教育学校に併設した学童
保育や保育園があるとよい。

オート化？

良し悪しは議論・・・

各教室オートライト
屋外オート日よけ

シンプル強固な建物

簡単にこわれぬ。

デザイン重視でなく機能性重視

送迎しやすい学校

保護者送迎、乗降のしやすさ

9年間の学びを支える施設

ICT充実

ICTを充実させる環境

オンライン対応のTV会議室

附属小にあるようなICT、ホワイトボード

多目的ホール

多目的スペースと多目的ホール

ランチルーム

全体と個で対応、たてわりなど

全児童生徒が集まるランチルーム

中庭

中庭に芝生

中庭の有効活用

防犯・防災

広い駐車スペース

防犯カメラ

動線の確保(安心・安全)

災害時の送迎がスムーズに行える駐車場

グラウンド

部活ができる運動場を広く
野球、ソフト、テニス、(陸上)、
サッカー

体力向上スペース

遊具

広いグラウンド

屋外施設で保育園児も時々
遊べる場所

作物を育てる(農業体験)が
できる区画

体育館

エアコン付きの体育館で体育の
時間の学びの保障

温暖化となり、室内で発散できる
場所

防災施設として使用可能な冷
暖房付きの体育館

特別教室は各2、アリーナも2つ

教室の近くに安心できるスペース
(体育での更衣室にも)

地域とのつながり

うきはコーナー

うきはのこれからとこれまでが見
える学校

小中全体で交流できる掲示物の
場所(学びの交流)

旧小・中学校の歴史の陳列ス
ペースと郷土コーナー

うきは市の 義務教育学校

どんな子どもを育てたい？
どんな学校にしたい？

R8.8.4 学校施設整備部会 (B班)

新しい学校にあると学びが 変わる空間

不登校支援

不登校兆候の小・中別の相談室

適応指導教室の設置
敷地内か 外か

保健室・トイレ

保健室は2つ以上

男子トイレに個室

男女とは別のフリースペース

学習環境

英語教育のための準備室が
必要ではないか。

合唱スペース

教材教具(習字道具、さんすう
セット)がきれいに収納できる
場所

特別支援

通級指導教室

通級指導教室設置場所は
・校内か ・外か ・敷地内か

特別支援学級にある運動(自立活
動)ができるちょっとしたホール

放課後デイの利用との連携を意
識した教室の配置

特別支援学級の教室の設置場所

障がいのある子ども達が車いす
でスムーズに移動できるスロープ

それぞれの特性を少し細かく分け
た部屋があったらよい

目的による教室の分離

医療ケア児を受け入れる施設が
欲しい。

手すり、トイレのバリアフリー

学校のバリアフリー化